

日常生活の指導 学習指導略案

あさひ子学級 2組 6名 指導者 谷口 誠 二

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 子ども一人一人が活動の見通しをもつことができる内容であったか。
- 子ども一人一人が自発的に活動できる内容であったか。

1 題 材 進んで楽しく活動しよう

2 題材について

(1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を帯状に設定し、朝の会を中核に据え、様々な指導を展開している。

本題材は、子どもたちが、毎日、一定時間にはほぼ同じような活動を繰り返し行うことで、一日の見通しをもち、情緒を安定させて学校での生活をスタートすることができる格好の題材といえる。また、子どもたちは、朝の会をはじめとする様々な活動や役割を行う中で学級の一人として大切な役割を果たす効力感を感じたり、活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりすることができる。

例えば、子どもたちは日にち、天気や毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）を読む活動を行っている。その後、大型カレンダーで昨日の行事を振り返ったり、その日や数日後に控えている活動への見通しをもったりすることができる。また、カレンダー学習では「おととい」「きのう」「きょう」「あした」「あさって」「しあさって」のカードを貼ることで、子どもたちは時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。他にも、挨拶の仕方や言葉づかい、集団での決まりを学ぶ、当番活動における自分の役割を果たすこと、身辺処理ができるようになることなど、様々な力を身に付けていくことができる。そして、子どもたちはみんなでいきいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合い関わり合う中で、基本的な生活習慣の定着を図り、豊かに生きる力を育てていくことにつながるものと考えられる。

(2) 子どもの実態

子どもたちは、この題材における活動や役割を繰り返し行う中で、各自の課題を一つずつ解決している。この題材における子どもたちの現段階での主な課題は次の通りである。

児童 (学年)	性別	主 な 課 題
A児 (1年)	男	<ul style="list-style-type: none"> ○ 席に座って話を聞くことができる。 ○ 名前を呼ばれたら返事をするすることができる。 ○ 相手が聞き取れる程度の音量で話すことができる。
B児 (2年)	男	<ul style="list-style-type: none"> ○ 席に座り一定期間集中して課題に取り組むことができる。 ○ 見通しをもって当番活動を最後までやり遂げることができる。 ○ 簡単な文を正しく読み、内容を理解することができる。
C児 (2年)	男	<ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち着いて教師や友だちの話を最後まで聞くことができる。 ○ 席に座り一定時間集中して課題に取り組むことができる。 ○ 相手の感情を考えて、自分の要求を伝えることができる。
D児 (2年)	女	<ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち着いて教師や友だちの話を最後まで聞くことができる。 ○ 席に座り一定時間集中して課題に取り組むことができる。 ○ 自分の当番活動を最後までやり遂げることができる。
E児 (4年)	女	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の話を最後まで聞くことができる。 ○ 見通しをもって当番活動を最後までやり遂げることができる。 ○ 声の大きさや言葉遣いに気を付けながら、友だちの前で話すことができる。
F児 (6年)	男	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな生活場面での決まりを理解して行動できる。 ○ 場に応じた音量で話すことができる。 ○ 友達に当番活動の進め方を教えて手伝うことができる。

(3) 指導に当たって

子どもたちが各自の課題を解決できるように、繰り返しの活動を設定するとともに、称賛を十分にを行うようにする。また、繰り返しの活動に当たっては、子どもたちが具体的にめざす姿が分かるようにするとともに、活動内容に広がりや深まりをもてるように、活動メニューを徐々に変えるようにする。

3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、情緒の安定を図るとともに、今日の一日やこれからの生活に楽しみや見通しをもつことができるようにする。
- (2) 割り当ての当番活動を進んで果たしたり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じた挨拶や、他者とのやりとりを通して相手の表情や感情を考えることができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。
- (5) 時間や時刻が分かり、「今日、明日、明後日、昨日、今週、来週、再来週、先週」などの時を表す言葉を分かることができるようにする。
- (6) 話す、聞くなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

4 指導の実際

[] 子どもの意識  教師の手立て ※評価

時	主な学習活動と教師の手だて・評価	
10	1 朝の会をする。 (1) 朝の挨拶をする。 (2) 健康観察をする。 [・元気よく挨拶をするぞ。 ・〇〇くんのように大きな声で挨拶をするるといいんだな。]	よい姿勢を具体的に示し、よい姿勢ができていることを称賛する。 名前を呼ばれたらはっきりと返事ができるように「大きな声で『はい』と返事をしようね。」と声掛けをする。
	(3) 今月の歌を歌う。 [・歌を歌うのは楽しいな。 ・先生のようにはっきり歌うぞ。 ・今日はどの楽器を使おうかな。]	※ よい姿勢で挨拶をしたり、言葉のやりとりをすることができる。 楽しい雰囲気で歌うことができるように、教師自らが、笑顔で歌う。 ※ 大きな声と笑顔で歌うことができる。
35	2 当番活動表を見て自分の割り当ての活動をする。 [・廊下を歩いて保健室へ健康観察を持っていこう。 ・当番活動を最後まで頑張ろう。 ・当番活動が終わったから、先生に「終わりました。」と伝えよう。]	子ども自らが当番活動を進めることができるように、活動の様子を撮った写真と活動内容を文字で表したカードを用いる。 当番活動が終了した際は、教師に「終わりました。」と伝えることで、活動と活動の区切りをつけることができるようにする。教師は、「やったマーク」を子どもに与え、活動終了の達成感をもつことができるようにする。
	3 今日の日付・曜日・天気を言う。 [・今日は6月3日金曜日だ。 ・雨の降る心配はないぞ。]	※ 進んで当番活動に取り組むことができる。 子どもたちが今日の日付などを理解できるように、一人一人が読むことができるようにする。
	4 モーニングメッセージを読む。 [・早く読みたいけど順番を待とう。 ・上手に読めるかな。 ・元気に読むぞ。]	音読や平仮名の読みに対する自信が深まるように、よかったところを話し、大いに称賛する。 ※ 正しく音読したり内容を理解したりすることができる。
	5 大型カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ。 [・今日も一日がんばろう。 ・次の時間は〇〇があるな。 ・△△するのが楽しみだな。]	今日の予定や一週間の楽しみや見通しをもつことができるように、時を表す言葉のカードを貼って、時間割を確認する活動を設定する。 ※ 「きょう」「あした」などのカードを所定の場所に貼ることができる。
	6 次の学習の開始時刻を確認する。	次の学習開始時刻を確認できるように、模型時計を準備し、開始時刻を表す活動を設定する。 ※ 次時の学習の準備をすることができる。